



2018年自慢大賞優秀作品



【自慢大賞】

- ①2017年度で、自慢したいことは？
- ②上記を成すために何を意識して頑張りましたか？それによって何を得られましたか？

①書かなければならないものを書かなかったり、やってほしいと言ったことをやってくれなかった人に対して、今までは「なんでやってくれないの！」とイライラしていたが、どうしたらやってもらえるのか仕組みやルールを工夫し、改善しに向けて努力したこと。

②他人を変えるのは難しいから、自分の考えを変えてやり方や仕組みで改善できる部分を探すようになった。
自分のやり方以外のやり方を探したり、伝え方や見せ方を変えたりした。
イライラしても仕方ないことにイライラしなくなった。
心に余裕ができた。

(2012年入社)

①生まれて初めて先輩になりました！

②学生時代から今までずっと上の人に甘えて生きてきて、昨年も下に入ってきた後輩はしっかりしている、を理由に先輩として何かしたことがありませんでした。
そんな私がメンターになりました。
私は、私のメンターが支えてくれたからこそここまで来れました。
人に注意することすらできなかった私ですが、半年間共に過ごしていく中で、気付いたことを伝え、その意見を吸収し、どんどん成長していく彼女を見守るのが楽しみになっていました。
この1年は、私が初めて自分が先輩だと自覚した1年になりました。
この先も下の子達が増えていく中で、その子達を支えていけるような人になっていきたいです。

(2014年入社)



①言い回し方、伝え方を変えるだけで獲得に大きく差が出ることに気付いた。

②入社してすぐの頃に「知識はもちろんだけれど、それ以上に言い回し方、伝え方が大切」と教えていただきました。ただ入社当初はあまりイメージが湧きませんでした。獲得が伸びず悩んでいた時にこの言葉を思い出し、伝え方について勉強しようと思いました。先輩方の伝え方を教えていただいたり聞いたりし、それを実践することで獲得を少しずつ伸ばすことができるようになりました。その時に初めて、あの時言っていた言葉の意味を理解することができました。
今も自分の頭の中をそのまま言葉にせず、相手の頭の中を想像し、このお客様にはどのような伝え方が一番響くのか、話を聞いてくれるのかを考え、それから言葉にするよう心がけています。
それを瞬時に考えることは簡単なことではありませんが、試行錯誤して考えることが今は楽しいです。まだ引き出しは少ないのでこれからも伝え方について学んでいきます。
そして伝え方が大切なことを後輩方にも伝えていけるようにしたいです。

(2017年入社)



①お客様からのいい声を沢山頂いた事です。今年には特にお客様からご指名を沢山いただき、接客をしました。
また数字に関しても、1日1件必ず数字に対して爪痕を残すよう心がけました。

②まず、お客様と接する心構え。
5年も経つとやはり当たり前みたく思ってしまうことも、新人の頃のようにお客様が喜んでくれた時の自分の喜びを思い返し、うちの店を選んでくれて、なお自分を指名してくれて来てくれる。
本当に有難く思い接客をしました。
数字に関しては、1度断られても諦めないことを意識し接客をしました。
私なりに数字の結果は高い1年だったと思います。

(2014年入社)





2018年失敗大賞優秀作品



【失敗大賞】

- ①2017年度で、失敗したこと、やらかしたことは？
- ②上記の失敗から何を学びましたか？学んだ結果今の自分がどうなりましたか？

①体調不良でいっぱいになってしまい、自分の事だけしか仕事ができない期間があったこと。

②皆の優しさ・厳しさ
普段からの行いが重要な事
思いっきり仕事できる事の喜び、有難さ
(2009年入社)



①後輩のテクノ指導を始めたものの、途中から副店長にバトンタッチをしてしまったこと

②意気揚々とテクノ指導を始めたものの、私の指導力不足で進捗は悪く、時間もあまりないしこのままでは本人に申し訳ない、と悩みができました。苦渋の決断で、私は一旦指導を離れて知識や経験の豊富な副店長に指導をお願いすることにしました。また1つ後悔を増やしてしまいました。折角始めたのに最後まで見てあげられなかった、本当に悔しいです。

本人のためを考えて出した決断だし、お陰様で今ではしっかりテクノ対応をこなしています。もしも私が指導を続けていたら、スムーズに勉強は進まなかったかもしれません。でも、自分への不満を残すことはなかったでしょう。他人の目なんて気にしたらダメ！と学んだはずが、まだまだ遠慮の気持ちがあったのだと決断したあとに気が付きました。これからは、辛い思いをしても「自分が後悔しない」を基準に選択をしようと思います。
(2013年入社)

①やりたいことをやろうとせずに諦めた。

②やりたいと思ったことを、自分には出来ないとか時間がないとか、自分の中で勝手に言い訳を作って挑戦すらしないでやりたいことを諦めていました。諦めるということを1つでもすると、諦め癖がつくことを学び、何に対してもやる気が起きなくなっていました。

そんなときとあるCM曲で、「やりたかったことやってみよう失敗も思い出 はじめよう やってみよう 誰でも最初は初心者なんだから」という歌詞を見て、すぐ諦めていた自分はなんて馬鹿なんだって気付かされました。

そこからやりたいと思ったことは必ず挑戦してみるようになりました。
(2016年入社)



①わからないことをわからないままにしてしまったことです。再度わからない時や、周りに聞くことができない時にそのままにしてしまい、ギリギリで違っていたことがわかった際に、自分だけじゃなく教えていただいた方にも迷惑をかけてしまいました。

②わからないことをわからないままにするのは自己責任だと思っていましたが、結果間違っていた場合に教えていただく時間は、相手にとっては予想していない時間を割いてしまうのだと学びました。わからないことをそのままにせず解決することは、正確な仕事をする上でとても当たり前ですが、自分の仕事の効率化にもなりますし、教えていただく相手にとっても、時間をいただけますか？と一言があるかないかの気遣いは関係性として大切だと感じました。
(2017年入社)



①「思ったことを素直に伝える」ということと「ただ生意気を言う」ことを履き違えて上司や先輩に失礼な発言をしてしまったこと。

②今までは違和感や不満を感じた時にその考えが正しいかどうかを必要以上に考えてしまい、結果「言わない」という答えになる事が多かったが、何かを感じた時にその感情が残っているうちに周りへ伝えることを意識する事で、自然と発言ができるようになった。

そして、周りに発信できる力がついてきた今だからこそ、その発言がどんな影響を与えるのか、良い方向に向かうための発言なのかをしっかりと考える。正直この件はまだまだ改善できていません。というよりむしろ自慢大賞失敗大賞で自分を見つめ直して気づいた課題です。必ず改善していきます。
(2015年入社)

①やらなきゃいけないことをやって、やりたいことが何なのかを見失った。

②やりたいことを我慢するうちにやりたいという気持ちを持っていたことにすら気づかなくなるということ学んだ。やりたいことが実現しなくても、声に出して意見を言ったり、何かアクションを起こすことの大切さを実感した。

(2011年入社)